

仁淀川地域	主な意見（※下線は具体的に検討する取り組み）
土佐市	<p>【農業】 ○ 文旦農家やトマト農家が新しいグループを作り、規格外野菜等を加工品にしたいという話があり、今後期待したい</p> <p>○ 耕作放棄地を含めた農地活用については、建設業者によるヤギの飼育やブルーベリー、橘の栽培等を検討中</p> <p>【水産業】 ○ ウルメのブランド化は宇佐地区の若者を中心とした組織の計画に支援する形で進めることができた</p> <p>【商工業】 ○ 商店街の量販店跡地に商工会が中心となって集客施設を計画中であり、支援をお願いしたい</p> <p>【観光】 ○ 仁淀川河口で地場産品を活用したレストラン及び集客施設を構想中であり、計画の目途が立てば支援をお願いしたい</p> <p>○ 企業組合宇佐もん工房、商工会宇佐支部、土曜市の協働による「まちあるき」の実施を行っている</p>
いの町	<p>【農業】 ○ 本川キジは当初の目標より生産羽数が少ない状況であり、産卵や孵化のスキルアップや環境整備が必要</p> <p>【観光】 ○ 新たに始めたラフティング事業はまだインストラクターの育成が必要な状況</p> <p>○ 屋形船の計画は川の深さやの問題等があり事業主体の見通しが立たない</p> <p>○ NHKの仁淀川特集にあわせて、仁淀川流域の物産に認証シールを貼るなど差別化を図って売っていききたい</p> <p>○ 観光客向けの物産を開発できるような人材を県から派遣してもらいたい</p> <p>【新エネ】 ○ 地域の間伐材等を燃料とするボイラーを設置する予定であり、地域で経済効果が出る仕組みを作りたい</p> <p>○ 吾南用水で小水力発電を検討したが、水利権の問題で進んでいない</p> <p>【分野共通】 ○ 今後は食と体験を中心に産業振興を進めていきたい</p>
仁淀川町	<p>【農業】 ○ 仁淀川流域茶は、まだ個々の思い入れが強く流域としてブレンド茶の生産には至っていない</p> <p>○ シキミ・サカキについては生産者の高齢化や病害虫、品質の向上が課題。</p> <p>【林業】 ○ 間伐を推進する「森の工場」について、林業機械への補助で一定の効果が出ているが、補助事業の複雑さや不在村地主が集約化の課題となっている</p> <p>○ 林業は、ソニアはだめになったが製品加工まで町内でやっていけるような体制を作っていきたい。また、建設業の林業への進出も支援してほしい</p> <p>【観光】 ○ 日帰りツアーが実施されているが、今後は泊の誘客ができるようにしたい</p>
佐川町	<p>【農業】 ○ 「地乳」の取り組みは加工品のラインナップを広げるとともに農商工連携での企業化も見据えている。今後の事業進捗に合わせたアドバイザー制度の充実をお願いしたい</p> <p>○ 黒岩地区の農業者や酪農家からなるグループの3軒からJAの支所を加工所にしたいとの話も出ている</p> <p>○ 新規就農希望者を研修している組織「ソエル」の法人化支援をお願いしたい</p> <p>【観光】 ○ ジオパークの取り組みについては、時間をかけ慎重に進めたい</p> <p>○ 歴史的風致維持向上の取り組みについては、国の事業を活用するとともに、県の支援策の活用も考えている</p> <p>○ 産振補助金に関して、観光関連事業の案件については短期間で具体的な経済効果が発生し難い。10～20年のスパンで効果を見てもらいたい。</p> <p>【新エネ】 ○ 新エネルギーについて、伊方原発の再稼働が厳しい状況なので、代替エネルギーの確保をどうするか県で方向性を示してほしい</p>

越知町	<p>【農業】 ○ 薬用山椒を作っている農事組合法人ヒューマンライフ土佐は業績を伸ばしており、ふるさと雇用の継続も期待が持てる</p> <p>【林業】 ○ 林業の起爆剤になるような、原木の価格保証のような取組をやってほしい</p> <p>【観光】 ○ 物産館はH22年4月からのオープンで前年比約1.9倍の売上があったが、目標にはまだ届いていない状況、今後はレンタサイクルも置きたいと考えている</p> <p>○ ジオパークの取組は、取組みが複数の市町村にまたがるなど、対象が広範囲になることなどから協議内容が発展しなかった</p> <p>○ 新たに始めたラフティング事業は、テレビでも取り上げてもらい予約も増えている状況</p> <p>【分野共通】 ○ 新しいものに取り組むよりも、これまでの取組を活かし、ステップアップを図ることを期待する</p>
日高村	<p>【農業】 ○ 高糖度トマトのブランド化は、市場での競合商品も多く苦慮している状況</p> <p>○ ネコ砂事業のOEM先の企業から新製品開発の話もあり、村としても対応していく</p> <p>【商工業】 ○ ヒューマンライフ土佐(越知町)と契約栽培している薬用植物は地域の高齢者の所得増につながっている</p> <p>○ 澁谷食品はH22年5月に工場がオープンし村内で2名以上の雇用につながっている</p> <p>【観光】 ○ 直販施設「さんさん市」について、道の駅としての機能も視野に入れた整備の構想作りに取り組む予定</p> <p>○ 屋形船による観光客誘致について、商工会から民間業者に委託する形で進める予定</p> <p>【分野共通】 ○ 産業振興アドバイザーは原則3回を昨年同様の5回としてもらいたい</p>